

地域振興団体 道の駅しろいしカンパニー

業務報告書

令和7年度

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

地域振興団体 道の駅しろいしカンパニー

会 長 百 武 和 義

令和7年度 地域振興団体道の駅しろいしカンパニー業務報告

(指定管理者の指定の意義)

白石町道の駅しろいし管理運営に関する基本協定書第2条に掲げる「民間団体たる能力を活用しつつ、地域内外の交流を積極的に行い、「しろいしブランド」を広く発信し、白石町の発展と地域振興に寄与する」ことを目的に、業務の実施状況等の各事項について報告します。

1. 業務の実施状況に関する事項

令和7年度の「道の駅しろいし」の来店者は、農林水産物等直売所、レストランでのレジ通過者で、約35万4千人となりました。道路休憩施設としての利用も勘案すると、レジ通過者の2倍以上、少なく試算しても年間75万人を超える方々が来店し、また利用していただいているものと考えています。前年度と比較しますと、レジ通過者で約4,700人の増(+1.4%)となっています。直売所、レストラン、惣菜、ファーストフードの年間売上額も堅調に推移しており、農林水産物等の出荷者の所得向上に繋がっています。

イベントとして、秋の収穫祭及び誕生祭等、またスイートコーン部会によるスイートコーン販売会を実施しました。そのほか、九州佐賀国際空港でのスイートコーン販売会や佐賀インターナショナルバルーンフェスタ等に出店するなど、これらの実施等により、「道の駅しろいし」の宣伝と多くの方の来店にも繋がるなど、地域内外の交流を積極的に行い、「しろいしブランド」を発信し、町の発展と地域振興に寄与することができました。

2. 施設の利用状況に関する事項

令和7年度の「道の駅しろいし」の来店者は、農林水産物等直売所、レストランでのレジ通過者で、約35万4千人(直売所約31万4千人、レストラン約3万9千人)となりました。前年度と比較しますと、約4,700人の増(+1.4%)となっています。

施設の会議室については、町内企業の利用や白石町役場各課の利用で34件の施設利用がありました。

農林水産物等直売所やレストラン、情報発信スペース、また24時間トイレなど、多くの方が利用されました。

3. 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況に関する事項

施設の会議室については、町内企業の利用や白石町役場各課の利用など、34件の施設利用がありました。使用料の減免件数が17件、徴収件数が17件で97,100円の使用料収入となりました。

また、24時間トイレについては、シルバー人材センターに清掃業務委託を行い、年間を通して適切な維持管理を行っています。なお、白石町からの指定管理委託料を受け、各種保守点検等も行いながら、施設の維持管理に努めました。

施設は建築後約7年が経過し、修繕等が増加傾向にあるため、今後も適切な維持管理に努め、また計画的な維持補修等を行っていく必要があります。

4. 自主事業の実施状況に関する事項

(1)令和7年6月8日(日)は、ふくどみマイランド公園にて、スイートコーン部会による「スイートコーン販売会」をドライブスルー方式により実施しました。会場では約1万3千本を販売し、道の駅しろいしにも購入を求め多くの来店がありました。なお、当日は、店頭でも約3,700本(1,865袋)が完売しました。

また、3直売所による九州佐賀国際空港イベントでも、約2,100本(1,067袋)の販売ができました。

(2)令和7年10月26日(日)に「秋の収穫祭」を実施しました。レジ通過者のうち先着200名へ紅白餅を配布し、またお楽しみ抽選会等を実施し、多くの来店者がありました。

(3)令和8年2月1日(日)に「道の駅しろいし」7周年誕生祭を実施しました。福富太鼓の演奏に始まり、レジ通過者のうち先着200名へ紅白餅を配布、レンコンの詰め放題などを実施し、多くの方にご来店頂き7周年を祝いました。

今回は、7周年限定として「1000秒であなただけの千手観音を描く屋台」絵描き&お寺めぐり画家の「尾中康宏」氏、言魂書家の「西山嘉克」氏をお招きし、体験コーナーを設け、ここにも多くのお客様が来場されました。

また、キッチンカーなどのブースも設け、多くの来場者に楽しんで頂きました。